

開成ファミリー 教室とご家庭を結ぶコミュニティー情報誌

Kaisei Family

Father and Mother, I Love You ♡

2021

夏号

vol.60



特集

だから、少人数ゼミ式指導

公開テスト成績優秀者&成績アップ優秀者

That's 雑学

先生からのおすすめ本

講習満足度No.1教室長が語る

「夏期講習で身につけるべき、大切なこと」

インタビュー 夏期講習に期待する生徒・保護者の皆さんに、どのような指導をされますか？

教室長 1学期のテスト結果から「現状」を変えたいと考えて、講習に参加する生徒が多いのですが、「結果」を変えるためには、努力する「姿勢」を変えることが必要です。我々は通常授業よりも顔を合わせる頻度が高まる夏期講習で、この「姿勢」を変えるための働きかけを強めようと考えています。

インタビュー 「姿勢を変える」というのは、学習時間を増やしたり、宿題をきちんとするといったことですか？

教室長 いいえ、そうではありません。「自分の頭で考えたり、行動したりする」ようになることです。自分の考えを持たずに答えだけを聞いてしまうと、その時の課題は乗り越えられても、違う形で聞かれると対応できなくなります。答えを知るのはなく、答えの探し方を身につけることが大切なのです。

インタビュー それは大変難しいことのように思えるのですが…

教室長 開成の少人数ゼミ式指導には、生徒が発言しやすい環境があります。教室という場で、自分の考えやその根拠に対して「周囲からの評価」を受けることが重要になります。たとえ間違ってもその理由を学ぶことができ、何より主体的に取り組むことができるようになります。

インタビュー そうやって、自ら学ぶ姿勢を身につけることができれば、学習したことが効果的に身につくし、学習に対する持続力も維持できるのですね。

教室長 はい。夏期講習では教科学習を進めることに加えて、こうした正しい姿勢を知ってもらい、持続可能な学習姿勢を自分のものにしてもらいたいと思います。

インタビュー なるほど！外部生として夏期講習を受けた生徒さんに9月以降も継続受講される方が多い理由を知ることができました。



【教室長】
若崎 哲生

中学受験

【大阪星光学院中学校 合格】 岩永 陽音さん

大切なのは「平常心」
実力を発揮するために
必要なこと

開成教育セミナーでは、仲間と切磋琢磨しながら自身を成長させ、テストで上位の成績がとれるにはどうすればよいかを考え、一番を目指すというモチベーションをもって頑張ってきました。ランキングで一位をとれなかったときに、一位の人と何が違っていたのか見直しました。すると実力を出し切れていなかったことが要因であるとわかりました。受験においては、いざテストという場面でも平常心でのぞむことが大切だと実感しました。

平常心を保つということは、日頃からそれ相応の努力を重ね、単に「わかった」「できた」というレベルで留まるのではなく、ほんとうに理解したのか、なぜそのような答えになるのかを、深く探究することでようやくたどり着けるものだと思います。勉強に限らず、身につけたことを実力どりの成果として発揮するため、しっかりとした準備、妥協のない努力を行い、平常心で臨めるようにすることが必要です。

中学受験を通じてこうしたことを知ることができたのは、本当に良かったと思います。そしてこれから夢の実現のために、しっかりとした準備を整えることを心がけていきたいと思っています。



中学受験

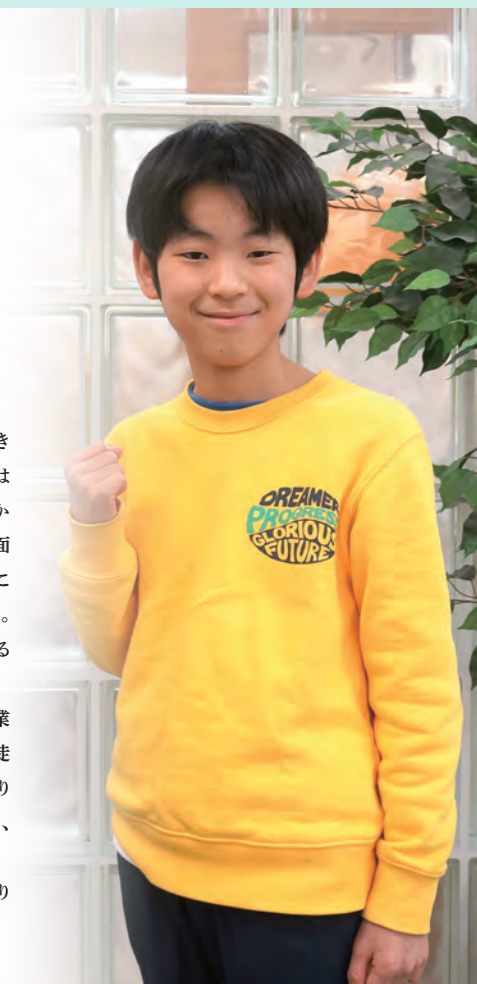
【甲陽学院中学校 合格】 東久保 祐樹さん

大切なのは「誠実さ」。
何事からも逃げない。

僕が開成教育セミナーの先生方から学んだ大切なことは「誠実さ」です。「誠実さ」とは「成すべき時に成すべきことを成す」ということです。いろいろな誘惑に、ついつい負けてしまいがちな僕にはとても響く言葉で、受験勉強中いつも意識していた大切なことです。例えば一つの問題に取り掛かるにも、必ずこの問題を正解してやろう、この問題からいろいろな知識を身につけてやろうと真正面から向き合い、徹底的にこなす。それができるまではほかのことに逃げない。そういう姿勢を保つことでやるべき時にしっかりと集中して、休むべき時には休むというメリハリのつけ方が身につきます。いい加減に取り組んだり、中途半端に放り出したりせず、最後まで向き合う。やりきることができるかどうか、その差が成果の差になるということがわかりました。

その点で開成教育セミナーでは各教科の先生みんながその姿勢の大切さをふまえて、いつも授業してくれたので、自分も前向きに取り組んでいくことができました。クラスが少人数なのでいつも生徒一人ひとりのそういった姿勢を見ていて下さって、注意したり、与える課題を人それぞれに変えたりしてくれたので自然と身につけていくことができました。レベル差や志望校の違いなどがあっても、みんなが同じ姿勢のもとそれぞれの課題を乗り越える力を身につけられたんだと思います。

これからも受験勉強で培った「誠実さ」を実践し、今は自分にはない力も自分の目的のためにしっかり身につけて実現していきたいと思っています。



公立中高一貫受験

【咲くやこの花中学校 合格】 中野 志音さん

添削スピードの速さが 改善のスピードを上げる

開成教育セミナーでは学校とは違い、ただ知識や解き方を教わるだけではなく、新しく得た知識をどのような場面で、どんなふうを活用するかといった実践するための方法を教わることができました。「知る」だけでなく、「使える」ようになる楽しさがあり、わかりやすく、自然と次は何を教わることができるのかと期待しながら授業を受けることができました。作文添削が返却されるまでの期間が短く、すぐに見直しことができました。最初は、時間内に速く、短く言いたいことをまとめるのに苦労していたのですが、一文ごとに見直し、その一文が文章全体の展開でこの場所に出てきていいのか考えるなど、具体的なアドバイスももらいました。そのうえで、時間を意識して繰り返し練習する機会を与えてもらったので、自然と時間内に書けるようになっていました。算数にしても、作文にしてもこうして一人ひとりの課題に対して解決するための方法を提示してもらえるので、取り組んで改善するスピードがとても速かったのが良かったです。

私の夢は営業職として、人が困っていることを解決するために様々なことを提案できるようになりたいと思っています。そのために咲くやこの花中学校に入ったら、探求授業や学校説明会での発表など、自分で表現する機会に積極的に参加し、夢に向けて成長していきたいと思っています。



公立中高一貫受験

【富田林中学校 合格】 末光 蓮さん

知識のつながりを意識する 理解の範囲が広がる楽しさ

僕は受験勉強をしていく中で、新しい知識を得られたり、得られた知識をいろいろな場面で活用できるようになることで、勉強を楽しむことができるようになりました。

開成教育セミナーでは先生が一つの問題を演習することに、その問題の解き方だけではなく、必ず周辺知識を合わせて伝えてくれました。なのでその分野により興味を持つことができ、自分でも調べてみようと思えることができたのが良かったです。知識というものがたがいつながりを持つもので、組み合わせたり、重ねたりすることで自分の理解できる範囲も広がっていくということを知って、授業だけでなく、自学習まで楽しんで取り組む方法を身につけることができました。そして、そんな方法を身につけたレベルの高い生徒どうしが同じクラスで一緒に取り組むことができたのも、よりその楽しさを膨らませるものでした。わからない問題を質問あつて解答を出したり、ひとつの解答だけにこだわるのではなく、別解を求めるようにみんなで意見を出し合ったり、本当に自分の意志で取り組んでいるという思いが自信につながり、どんどん学習を進めていくことができました。

富田林中学校に入学後は将来の夢である医師になるため、同じように意識の高い人たちの中で、開成教育セミナーで培ったことを活かし、夢を叶えるために課題を乗り越えられるように努力していきたいと思っています。



公立中高一貫受験

【水都国際中学校 合格】 東 真綿さん

理解したことを人に伝える 「人も成長させる努力」

同じクラスの生徒どうしで力を合わせて勉強を進められたことが良かったです。いろいろな個性や目標を持った生徒が集まっていて、いろいろな考え方や視点を学ぶことができました。適性検査の問題は、一つの問題でもいくつかの正解があったり、正解が一つでもそこにたどり着くための道筋が複数あったりします。開成教育セミナーでは授業中はもちろん、授業以外の自学習でも一つの問題にみんなで取組み、それぞれの考えや解答を共有することで自分一人では気づけな知識や方法を身につけることができます。

このような取り組み方は、受験勉強だけでなく、他のさまざまな学びに応用できるやり方だと思います。こうした「自分にとどまらず他人をも成長させる努力」を学べたことが最も大きな収穫でした。自分の中で消化するだけでなく、理解したことを人に伝えることができるようになって、初めて本当の知識になっていくという感覚を知りました。相手に伝えるためには自分がその問題を解けるというだけでは不十分で、さらに正確で深い理解が必要になります。「わかった」というところで終わらず、「どうすれば人に伝えられるか」という視点を持つことで気づいたポイントがたくさんありましたし、自分の考え方をいくつか持つきっかけになることもたくさんありました。

将来はミュージカル女優になって、小さな劇団を作り、発展途上国の子どもたちに文化のすばらしさや世界の広さや、自分がその一部であるというすばらしさを伝えられるようになりたいと思っています。



公立中高一貫受験

【滋賀県立守山中学校 合格】 柴田 陽風さん

「構造」を理解して、 「構造」を意識して表現する

1年間の受験勉強を通じて、僕が身につけた大切なことは自分の考えを表現する前に論理的に「構造」を意識して表現するということです。

作文があまり得意ではなく、適性検査において重要な記述問題への対策をしていく中で、最初はどういうように書けばいいのかわからない状態でした。そんな時開成教育セミナーの先生から文章を書き始める前に聞かれている内容や答えなければならない内容を一度図や表を使って「構造」として組み立て、その組み立てに従って書き始めるという方法を教わりました。聞かれたことに思いつまま記述していくと箇条書きのようになってしまいます。そうではなく本当に言いたいことを軸に、いくつかのポイントについてつながりを意識しながらどの順番でまとめていくのか、頭の中や時には紙に書きだしていくと整理できて添削でもよい評価が帰ってくるようになりました。この経験を通じて、僕は物事をとらえるとき必ず「構造」が存在して、その構造を理解することが本当の学習だということ、そしてそれを自分が説明するなど表現するときにも同じように「構造」を意識することが必要だということを学びました。これはこれから先、自分が様々なことを学んでいくうえで活用できる大切なことだと思います。これからもいろいろな場面で意識して実践していきたいと思っています。



高校受験

【北野高校 合格】 軽尾 直哉さん

仮説と検証、 そして選択肢に根拠を

小3から通い続けた開成の先生は、わからない問題を質問すると必ず、その疑問点の解消だけではなく、僕がなぜその問題を理解できなかったのか、解答することができなかったのは何が足りないのか、伝えてくれました。日頃から少人数ゼミ式の授業形式の中で生徒の特性や現状の課題をしっかりと把握してくれていました。

こうしたことから、自分の頭で考え、自分の手でやってみる、決めつけはしないという習慣が身につきました。「まずはやってみる」。「成功」すれば「成功体験」だし、「失敗」すれば「課題発見」となります。行動がどちらに転んでも必ず自分にとってプラスになると考えることはとても自分の励みになりました。「課題が見つければ、あとは改善するだけ」そう考え、仮説と検証を繰り返すことでどんな課題でも乗り越えることができました。

どんなことでも目標を定めたら、その実現のための選択肢を考え、根拠をもって選択する。そうすれば多様な知見を得ることができ、勉強以外にも応用できるし、自身の成長につなげることができると思います。



高校受験

【膳所高校(理数科) 合格】 川口 友維さん

努力の源泉は 人と人との関わりにある

私は努力することが好きです。目標に向かって努力できた自分の成長を実感できたときの喜びはひとしおです。努力というと孤独な闘いというイメージがあるのかもしれませんが、実際には他者との関わり、対話があるからこそ努力ができるし、その努力が尊いのです。「この人すごいなあ。この人のようにになりたい」と思うことが努力のきっかけにもなるし、誰かのためになることであれば、負けずに努力をやり続ける力になります。そして努力によって様々な考え方や知識が身につくと、より多くの人と話せるようになり、日常生活のあらゆる面でたくさんの人の考え方に触れ、楽しい時間を過ごすこともできます。

努力には、人と人を引き合わせる大きな力があります。努力をして得ることができる知識や経験が集まり、互いに高め合ったり、新たな気づきや発想が生まれ、さらなるつながりができていくのです。こうした努力によって得られる知識や経験の恩恵を教えてくださいました両親と開成の先生に感謝しています。

これからもたくさんの人と接することで自分の知らない価値観に触れ、様々な考え方を知ることによって自分が努力し、成長できる環境を手に入れていきたいと考えています。



高校受験

【川西緑台高校 合格】 内野 紗希さん

効率の良い学習って、 学習習慣って、 こういうことだったのかな

開成の先生が、部活していた私にしてくれたアドバイスは、「毎回授業で習ったことを、あまり時間をおかずに復習すること、そしてその一回の勉強時間は長く取らないこと」でした。それともう一つ、「そのことを習慣化させること」でした。

復習のしかたについても、学習内容の理解だけでなく、その知識が活用できる場面や、他の内容とどのような関連性があるのかなど細かく教えてくれました。そうすると、単語や文構造がどんな機能、役割があるのか理解することができ、また公式や原理がどのように成り立ち、どのように使われるのかを知ることができ、「一般化⇔具体化」の思考を身につけることができました。学んだことを一般化させると、一つの事象から他のことに応用でき、難しい問題の糸口を見つけるヒントにもなるため、目的を持たないで問題演習を繰り返すだけという状態にはならず、結果的に効率のいい学習につながったのだと思います。

習慣化については、ネガティブになりがちな私の性格を見てくれたアドバイスだったのかなと思います。無理のないスケジュールで適量の学習を途切れずに行うことは、「時間がないのでわからないけど覚えてしまう」といったことがないよう、じっくり取り組み、一般化できるまで理解することにつながりました。

効率的な学習を習慣化して長期間持続させてきたことで、苦手なものを苦手な状態のままで焦りや不安を感じることはありませんでした。そして、常に目標に向かって集中した受験勉強ができたのだと思います。



高校受験

【大泉高校 合格】 高地 天音さん

主体的に塾を活用すれば、 成果が実感できた

開成教育セミナーを選んだのは、受験に合格するための道筋をガチガチに固めるのではなく、志望校と今の自分の学力を照らして、足りないところ、やるべきところを明確に示してもらえ形式の塾が良いと考えたからです。

実際に説明を聞きに行ったところ、先生方が明るくて、塾の話ではなく、私の話を聞いてくれてそれに合わせて塾がどんなことをしてくれるのか話してくれました。それでこの塾なら自分が考える受験勉強が進められそうだしと思い、入塾することにしました。

授業は思っていたとおり、生徒一人ひとりの状況に合わせて進めてくれました。単元の導入はもちろん演習の解説まで、なぜその解き方になるかを、一つひとつ具体的に説明してくれたうえで、それぞれの解答を見て演習状況を確認し、理解できていないところをどのように理解すればよいかを説明してくれました。

また、どうしてそうなるのか、本質を理解するために一つの問題について別解を用いて比較して説明してもらったのがとても良かったです。試験で簡単かつ正確に解答するのにも役立ちましたし、通常の解き方だけでは回りくどくてわかりにくい「要するに」の部分を理解することができたので、同じ単元の問題で多少出題をひねられても、対応することができるようになりました。

また、難しい問題であっても親しみやすく楽しめるように明るく、クラス全員を巻き込んで進めてくれる授業の雰囲気があり、自分一人で考えていたら嫌になりそうな問題にも意欲的に取り組むことができました。



That's雑学

ざつがく

気象雑学編 Weather SUMMER

このところ季節にまつわる雑学が続きましたので、今号ではさまざまな気象にまつわる豆知識を紹介させていただきます。
 なお、紙面刷新により今号からは縮小バージョンでお届けいたします。

雑学① スコール

スコールと聞くと熱帯地方の「激しいわか雨」をイメージするのではないのでしょうか？「熱帯で急に降ってくる激しいわか雨で、ほぼ毎日降るけれども短時間で止む」私たち日本人がイメージするスコールとはこんなところですね。でも実は気象用語としてのスコールの定義は、「短時間に風速11.3m/秒以上になり、少なくとも1分間は続き雨や雷を伴うこともある」となっています。つまり急に強くなった風のことなので、雨が降らなくてもスコールというのです。
 また語源を遡ると、おそらく北欧スカンジナビアの言葉だったと考えられ、もともとは寒い地域で発生するものでした。欧米人が熱帯・亜熱帯の植民地で経験した天気を、自分たちになじんだ「スコール」と呼ぶようになったのかもしれない。

雑学② 入道雲

「夏になると青空を背景にまぶしいくらいの白いモコモコした雲がわきおこり、そのあと空が暗くなり、雷をともなった激しい雨が降る。まれに雹が降ることもある」これが一般的な入道雲のイメージですね。理科の授業で習う「積乱雲」＝「入道雲」と思っている方も多いと思います。
 入道雲が積乱雲の一種なのは間違いありませんが、積乱雲に成長する前段階の積雲（わたぐも）のこともあるので、厳密には「入道雲＝積乱雲」ではありません。積雲の大型なものを雄大積雲といいます。入道雲はこの雄大積雲か、積乱雲の中でも雲の上部が平らに広がっていないものを指します。
 ちなみに「大入道」というのは「スキンヘッドの大きな妖怪」のことで、昔の人が雄大積雲や上がモコモコの積乱雲を見て、「妖怪大入道が出たあ！」と思ったのかもしれない。
 ところで冬にも入道雲は発生していますが、発生のメカニズムが違うので地上からは夏のような形に見えません。あと、入道雲が出たときには冷たい突風に気をつけてください。

雑学③ 雷の電力量

雷ではどれくらいの電力が発生しているのかご存知ですか。雷1回分の電力量は約400kWhだそうです。筆者の自宅では7月の電力量が約300kWh、8月は約500kWhでした。エアコンを多用する夏でも、平均すると雷1回で1軒の家が1ヶ月で使う電力量をほぼまかなえる計算になります。
 そもそも雷の電気は、空に浮かんだ雲の中にある小さな氷がぶつかり合うときの摩擦から生まれます。ですから最初はおくわずかな電気にすぎません。それがチリも積もれば何とやらで、こんなにも大量の電気になるわけです。これをその辺の空気に放電しているとは何とももったいない！しかも地球全体だと1秒間に40～100回ほど発生しているので、クリストファー・ロイド扮するエメット・ブラウン博士のように、雷のエネルギーを使う方法を発明すれば、きっと地球温暖化も一気に解決すると思います。

季節の雑学から離れるつもりが、なぜか夏に関係するものばかりになってしまいました。ところでエメット・ブラウン博士、お分かりいただけましたでしょうか。

先生からのおすすめ本

We want you to read these books.

小…小学生におすすめ 中…中学生におすすめ 高…高校生におすすめ

その他おすすめ本

- ①星の王子さま サン＝テグジュペリ 著 / 新潮文庫
- ②東大生だけが知っている「やる気スイッチ」の魔法 阿田真波 著 / 主婦の友社
- ③アメリカインディアンの教え 加藤勝三 著 / 扶桑社文庫



「バカの壁」は解剖学者である養老孟司さんが書いた本です。ベストセラーになった本ですから知っている人も多いかも知れませんが、刺激的なタイトルですが、人がものを「理解する」ということを脳科学の観点から解かれた本です。わかりやすい語り口調で多岐のテーマに渡って話が進んでいきます。
 私たちは普段何気なく、「わかっている」「わかってきた」と思っていますが、「理解する」「わかる」ということがそんな簡単な話ではないぞということをお話してくれます。身近なテーマも多いので、ハッと思い当たるものがたくさん出てきます。また、普段考えてもいなかったことにもいろいろな気づきを与えてくれます。そういったことを知ると、ものごとに対する見方が変わり、自分の世界を広げられます。
 「勉強する」「知る」ことの目的、おもしろさの1つは自分の世界を広げていくことだと思えます。自分のものの見方、考え方の幅が広がっていく、ぜひ、みなさんにもそういった経験をしてほしいと思います。

高松 博之 先生おすすめの
 「バカの壁」
 養老 孟司 著
 新潮新書

その他おすすめ本

- ①封神演義 安能務 訳 / 講談社文庫
- ②鉄道員 浅田次郎 著 / 集英社文庫
- ③漁港の肉子ちゃん 西加奈子 著 / 幻冬舎文庫



かなり古い本ですが、社会の授業で中国の話をするときにたいへん役に立っている本です。日本で言えば弥生時代の始まりのころ、初めて中国全土を「秦」の始皇帝が統一しました。その「秦」が減っていくところからの項羽と劉邦の戦いを描いた物語です。度々、作者である、司馬遼太郎の補足説明があるので、歴史に詳しくなくても、当時の様子や理由がよくわかるようになっていきます。項羽は「楚」という国の有名な將軍の血筋を引いていて、体もとても大きく怪力の持ち主でした。さらに、勇敢で才覚もありました。さて劉邦には何があつたのでしょうか。劉邦は地方の小さな町で生まれ、ろくな定職も持たずに過ごし、まともな読み書きもできない遊び人だったので、誇れる血筋もありません。体も大して大きくはなく、力も弱く、すぐ逃げ出します。そんな劉邦がどうやって、項羽と戦っていくのでしょうか。劉邦には項羽をしのぐ何があつたのでしょうか。歴史を学ぶということは、過去の出来事から、自分の生き方を学ぶということです。この「項羽と劉邦」も、人間にとって最も大切なことは何なのか、ということをお話している本だと思えます。

岸田 幸夫 先生おすすめの
 項羽と劉邦
 司馬遼太郎 著
 新潮文庫

その他おすすめ本

- ①かがみの孤城 辻村深月 著 / ポプラ社
- ②都会のトム&ソーヤ はやみねあおる 著 / 講談社
- ③こども電車 阿田潤 著 / 金の星社



みなさん、パンは好きですか？私はとても好きです。パン屋さんってとても良い匂いがして、つい立ち寄りたくなってしまいますよね。今回紹介する物語は、とても美味しいパン屋さんが舞台です。しかし、このパン屋さんは「風変わり」で、題名通り真夜中だけ営業しています。なんで真夜中だけ営業しているのか？その答えは物語を読みながら考えてみてくださいね。
 さて、そんな不思議なパン屋さんにやってくる人々はみんな、様々な悩みを抱えています。例えば、母親が家出してしまったり、学校でいじめられていたり。このような登場人物がパン屋さんで出会い、自分の問題に向き合い、少しずつ成長していくというストーリーです。人と人との繋がりや縁の大切さを感じさせてくれます。
 とても良いテンポで物語が進むので、最後まですらすら読むことができます。また、みなさんの中にも、家族や友達にはちょっと言いにくい、でも自分一人で解決するのは難しい悩みを抱えている人はたくさんいると思います。これはそんな人の心が温かくなるような物語です。前向きで優しい気持ちになれるので、ぜひ読んでみてください。

近藤 竜一 先生おすすめの
 真夜中のパン屋さん
 午前0時のレシピ
 大沼 紀子 著
 ポプラ社